

保育所落ちた……でも勤ける

子連れ出勤母力モン!!

追跡

職場に託児スペースを作つたり、働く母親の職で子どもを遊はせることを認めたりして「子連れ出勤」を可能にする企業が増えている。希望しても保育所に入れない待機児童の解消ができない中、仕事を子育ての両立にかかる働き方の一つとして注目される。

【玉木麻樹】



場所・費用 中小には厳しく

一定規模以上の企業や病院などの間では近年、職場と同じ建物や近隣に保育所を開設する例が珍しくなくなってきた。

こうした事業所内保育所については預け出の義務がないが、厚生労働省の2014年度の取りまとめでは全国に4593カ所あり、約7万4000人の児童が利用。このうち病院内が2811カ所(約5万6000人)と過半数を占める。

ただ中小企業にとって保育所まで設置するのはハードルが高く、事業所内保育所を委託運営している日本福祉総合研究所(東京)は「希望はあるが、場所の確保や費用、常に子どもがいるかなどの問題で諦める企業が多い」と課題を指摘する。

「室内の一角をガラスで仕切った託児スペースで、保育士が授業員の子供をおんぶしながら自身の子どもを預けていた。福岡市内のある幼稚園とまつ毛美村にある幼稚園とまつ毛美村のどちらになれば」と助かるところ

の品野明香さん(31)は「保育料を考えると娘を預けて今まで勤けないと思っていた。保育所に落ちた周りの母親からは、こういう職場を見つけられてうらやましがられる。子連れで勤ける会社を探している女性は多いと思う」と言う。

企業側には貴重な人材を失わないようにする狙いもある。体験型カタログギフトの企画販売会社「ソウ・エクスプレンス」(東京都墨田区)は、従業員が10人はどたつた3年前、出産を機に退職する従業員

+ Family (ハルプラスファミリア) 美野島店」。昨年12月のオープンに合わせ、託児所と言ふ字も書かれていた。

「無料で利用できる託児スペースを設け、保育士や看護師も直接利用した。自身も一歳の女の子の母

人材確保へ託児施設設置

企業増

親である左近春香代表(46)は「子育て中でも働きたい女性やされいになりたい女性を後押しする職場を作りたかった」と語る。経営する3店舗のうち一番新しいこの店に託児スペースを設置した。3店で計28人いるスタッフのうち13人が子育て中の母親で、うち8人が子連れで出勤している。

オーブン前に左近さんがあっただといふ。5歳の息子を幼稚園に預け、2歳の娘を連れて出勤するスタッフの品野明香さん(31)は「2週間で6人の店員があつた」という。「5歳の息子を幼稚園に預け、2歳の娘を連れて出勤するスタッフは多い職場にとつて大きな課題。他の企業からも問い合わせが増えている」と話す。

子連れ出勤の先駆けとして知られる授乳室製造・販売「モーハウス」(茨城県つくば市)の社長で、NPO法人「子連れスタイル推進会」の光畠由佳代表は「ここ1、2年で子連れ出勤を導入したい」という行政や企業からの問い合わせや、実際に始めているところが増えた。子どもを連れ働くことが、保育所に預けられないと働けないという現状を変える意味での一つになれば」と期待している。